

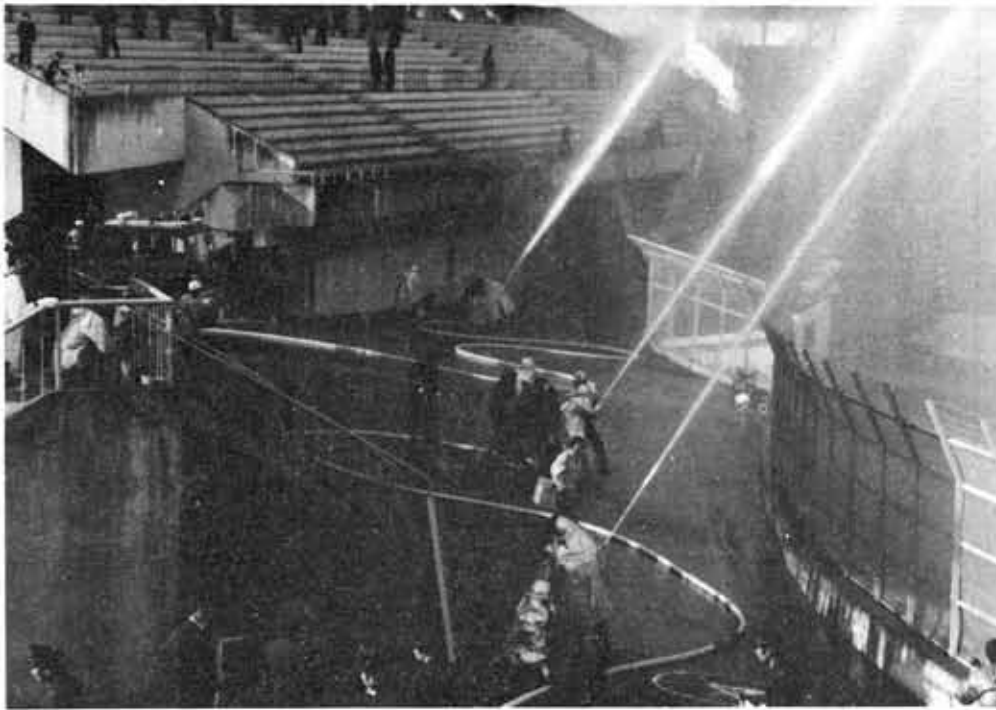
広報 向日市

まちのうごき

(1月1日現在)	(11月中)	
世帯数 16,142世帯	生れた人 61人	
人口 51,146人	亡くなった人 26人	
男 25,260人	転入した人 234人	
女 25,886人	転出した人 263人	

もう一度火元の点検を！

2,3月は火災の危険なシーズン



無火災都市を目指して一斉放水(1月15日消防出初め式)

「一年間で一千九百人におよぶ人命と一千五百億円の財産が炎の中で失われた」と昨秋に発表された消防白書は、伝えています。

ところで、二、三月は、空気がカラカラに乾燥して風も強く、いわば火災シーズンの「本番」ともいえる「危険な季節」です。

火災を防ぐには、毎日の生活のなかで、忘れずに火の始末の習慣をつけることがなによりも大切です。

この時期に、家庭のなかにある火元をもう一度点検し、みんなで火災を防ぎましょう。

「一位」の座を譲っていないもの、一件当たりの損害額では断然トップ。一件当たり約三百八十万円相当の財産が「燃料」にされてしまいました。

昭和五十五年中には、全国で一時間にほぼ七件の割合で火災が発生しています。これを由火原因別に見ると、たばこ、火あそび、たき火の順で多く、ストーブは七番目です。ところが、わたしたちの財産を灰にし

てしまう「効率」という点では、ストーブは他を圧倒していると言えます。

一方、昨年内で発生した火災は五件、一昨年と比べ一件減少しています。その原因は、放水(疑いも含む)三件、火あそび一件、天ぷら油一件となっています。

また、損害額も四百八十六万八千円で、一昨年に比べ十三万二千円減少しています。

増えている

「ふろのからだき」

ここで見おとしはならないものに「消防事故」があります。

この消防事故とは、発見、通報が早かったため、火災に至らなかった事故です。

過去五年間の市内の消防事故を調べてみると(別表参照)、昨年は五十八件で過去五年間で最高となりました。これは、市民一人一人の警火心が高くなったことによる早い通報、少ない被害の通報件数が増加したものです。

消防事故のなかで一番多かったのが、ふろのからだき事故で、とくに昨年は多く、三十四件発生し、消防事故の五九%を占めました。

その原因は、せんの仕方が悪かったための水漏れと浴そう内に水を入れずにう

っかり火をつけたものがほとんどでありました。

最近のふろは、バーナーで自動点火という簡単な装置ですが、この便利さが事故発生の大きな落とし穴で

ふろを沸かすときは、浴そうの水を確認してから、バーナーに点火し、沸かし置ける途中でも、ときどき点検しましょう。



ちょっとした不注意がこのとおり

年次別消防事故状況比較表(原因別)

事故原因	52年	53年	54年	55年	56年
ふろのからだき	5	15	5	18	34
たき火	6	2	5	3	1
たばこ	7	4	5	3	1
火遊び	6	2	6	12	3
天ぷら油	3	6	2	2	4
ガスコンロ・ストーブ	1	3	2	2	3
放火	2	3	1	7	6
器具の火花	1			1	
可燃物に着火		2	3	1	1
電気火花	2		1	1	
不明火	1	3	4	1	5
合計	34	40	35	51	58

からだきの原因は？

△せんの締めつけが不良
中でも、水を入れすぎたために、クサリを引っぱってせんをうかせて水を抜き、適当なところで手を離し水圧によってせんをするといったおうちやくな仕方をしたため、せんが「いびつ」になり漏水した例も多々ありました。

△水まはらなかつた
ほんとうかと思う人もあるかもしれませんが実際にあったことです。水をはるのを頼まれた人が忘れてい

大切な6つのポイント

- ◎浴そうの水量を確かめてから点火する。
- ◎湯が沸くまでにもう一度水量を確かめる。
- ◎水をはるとき、せんはいびつにならないよう確實に締めつけ、異物の付着



◎湯をかき回すとき、せんのクサリをひっかけない

◎浴そうのきれつなどを点検、修理する。

◎からだき防止器を取りつける。

昭和57年度建設工事・物品指名競争入札参加資格審査申請について

- ▷受付期間 2月1日(月)～27日(土)
(土曜日の午後、日祝日は除く)
- ▷申請用紙販売・配布場所
(1)建設工事の請負・上下水道施設工事の請負
京都建設業協会(各支部)
全京都建設協同組合(各支部)
京都府庁内売店
(2)物品の製造の請負および物品の買入れ
企画財政室財政課
- ▷提出先
企画財政室財政課管財係 内線260
水道部業務課整理係 内線236

「犬はつないで正しく飼いましょう。」

2月は「犬害防止強化月間」です。市では、この期間中、野犬や放し飼いの犬を麻酔銃や捕獲箱、毒エサなどを使って徹底的に捕獲します。ご協力ください。

■お願い■
▷飼い犬は昼夜を問わず、必ずつないで飼ってください
▷毒エサのおいてある場所は、立札で明示しますので、近寄らないでください。
▷犬を散歩させる時は、必ずスコップ・ビニール袋などを携帯し、フンなどはつつんで持ち帰りましょう。
▷野犬を見つけた時は市役所か保健所までご連絡を。

■お問い合わせ 生活環境課 内線227
向陽保健所 電933-1155



必ずクサリにつないで飼いましょう